

各位

会社名 プレミアアンチエイジング株式会社
代表者名 代表取締役社長 松浦 清
(コード番号: 4934 東証グロース)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長
上原 祐香
(TEL. 03-3502-2020)

2025年7月期通期連結業績予想と実績値との差異及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

2025年6月12日に公表いたしました2025年7月期の通期連結業績予想と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、本日公表の2025年7月期連結決算において繰延税金資産を計上することとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年7月期 通期連結業績予想と実績値との差異について(2024年8月1日~2025年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年6月12日)	百万円 16,000	百万円 300	百万円 250	百万円 120	円 銭 13.76
実績値(B)	16,160	617	599	471	54.10
増減額(B-A)	160	317	349	351	
増減率(%)	1.0	105.7	139.9	293.2	
ご参考: 前期実績 (2024年7月期)	20,359	139	161	△1,483	△170.10

2. 差異の理由

2025年7月期の売上高は、リカバリー市場の拡大に伴いリカバリー事業の販売が好調に推移しましたが、アンチエイジング事業を取り巻く事業環境は依然として厳しく、加えて、デュオのリニューアルに伴う旧品の返品影響等もあり、ほぼ計画通りの着地となりました。

一方損益面では、第4四半期に想定していたデュオのリニューアルに伴う旧品の返品は想定通りに進捗し、デュオ、Lalaskin(ララスキン)及びベネクスへの広告・販促投資も計画通り実行しましたが、通信販売チャネルにおいて、引き続き新規獲得の広告効率が十分に改善しなかったことから、新規獲得に係る広告宣伝費を中心とした販売費が計画を下回ったことを主な要因として、営業利益及び経常利益は計画を上回りました。

上記に加えて、下記「3. 繰延税金資産の計上」に記載のとおり、法人税等調整額△66百万円(△は益)を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益に上記のとおり差異が生じました。

3. 繰延税金資産の計上

当社は、当期の業績および今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収が見込まれる部分について2025年7月期に繰延税金資産を計上することといたしました。これにより2025年7月期の連結会計年度における法人税等調整額(△は益)は、△66百万円となりました。

以上